



投資型年金保険

ベストツインズ

のび太とふえ太

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定（世界分散型40MU（509））

四半期運用レポート

2012年10月～2012年12月



【利用する投資信託の委託会社】 三菱UFJ投信株式会社

三菱UFJ投信株式会社は、2005年10月の合併により、幅広い商品ラインアップと充実した販売網、そして様々な商品カテゴリーに対応できる運用体制を確立いたしました。

引き続き、広くお客さまのニーズと信頼にお応えし、質の高い運用とサービスを誠実にご提供することを目指して参ります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート (2012年10月～2012年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2012年10月～2012年12月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇し、TOPIX(東証株価指数)は9月末比+16.60%上昇の859.80ポイントで終了しました。

10月は、IMF(国際通貨基金)の世界経済成長率見通しの下方修正などを背景に下落する局面もありましたが、スペインの国債格付けが投資適格に据え置かれたことや円安が進んだことなどから上昇しました。11月前半は、米国の「財政の崖」問題への懸念の高まりなどから下落しましたが、後半には、国内政権交代への思惑が強まる中、自民党の安倍総裁による日銀への積極的な金融緩和を求める発言をきっかけに円安が進行し、株価は上昇に転じました。さらに12月は、衆議院選挙での自民党圧勝を受けて発足した新政権による大型景気対策への期待に加え、日銀への金融緩和と圧力が強まるなどの観測から円安が大幅に進行したことが好感され、大きく上昇しました。

業種別(東証33業種)では、株式市場の上昇を受けて「証券・商品先物取引業」(9月末比+69.73%)が最も上昇した一方、原油価格がほぼ横ばいにとどまったことなどから「鉱業」(同▲0.90%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、11月中旬までは、IMFの世界経済成長率見通しの下方修正や市場予想を下回る企業決算、「財政の崖」問題への懸念などから下落基調で推移しました。しかし11月後半以降、「財政の崖」問題回避への期待から上昇に転じ、FRB(米連邦準備理事会)の追加金融緩和と政策の発表も相場を後押ししました。12月中旬以降、「財政の崖」回避に向けた交渉に不透明感が増したことなどにより下落基調となり、NYダウは、9月末比▲2.48%下落の13,104.14ドルで終了しました。

欧州株式市場は、10月は、IMFの世界経済成長率見通しの下方修正などから下落する一方、スペインの国債格付けが投資適格に据え置かれたことなどから上昇するなど揉み合いで推移しました。11月は、米国の「財政の崖」問題への懸念の高まりなどから下落しましたが、ギリシャ支援協議合意などから上昇しました。12月は、ギリシャの国債買戻し策発表などから上昇基調で推移しました。市場別騰落率は、英FT100は9月末比+2.71%上昇、仏CAC40は同+8.53%上昇、独DAXは同+5.49%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、10月はIMFの世界経済成長率見通しの下方修正などにより金利は低下(価格は上昇)する一方、スペインの国債格付けが投資適格に据え置かれたことなどにより上昇(価格は下落)し、揉み合いで推移しました。11月は、衆議院選挙後の金融緩和と圧力の高まりや、米国の「財政の崖」問題に対する懸念の高まりなどから低下しました。しかし12月中旬以降、大規模な財政出動による国債増発懸念が強まったことなどを受け、上昇に転じ、新発10年国債利回りは0.795%となりました(9月末は0.765%)。

日銀は、無担保コール翌日物金利の誘導目標を年0～0.1%程度で推移するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、10月は、IMFの世界経済成長率見通しの下方修正などから金利は低下(価格は上昇)する局面もありましたが、好調な経済指標などから上昇(価格は下落)しました。11月は、「財政の崖」問題への懸念の高まりや追加金融緩和と観測などから低下しました。しかし12月には、インフレ期待や好調な米国経済指標、「財政の崖」回避に向けた与野党協議の進展期待などから大きく上昇し、米10年国債利回りは、12月末には1.757%となりました(9月末は1.634%)。

欧州債券市場は、10月前半は、スペインの国債格付けが投資適格に据え置かれたことなどから金利は上昇し、後半は、スペイン地方政府5州の格下げなどから低下しました。11月以降は、ギリシャ支援協議合意などから上昇する局面もありましたが、イタリアの政局混迷などから低下し、独10年国債利回りは、12月末には1.316%となりました(9月末は1.442%)。

FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0～0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を据え置き、年0.75%を維持しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、11月中旬に、「財政の崖」問題への懸念の高まりから円が買われる動きが見られました。しかし、好調な米国の経済指標や衆議院選挙後の新政権のもとで日銀に対する金融緩和と圧力が一段と高まるなどの思惑が強まったことなどから、期を通じて円安が進行しました。円は対ドルで9月末比8円98銭(11.57%)円安ドル高の1ドル=86円58銭となりました。

ユーロ/円相場は、10月は、ドイツの景気減速懸念などから一時円は上昇しましたが、スペインの国債格付けが投資適格に据え置かれたことから下落しました。11月中旬以降、米国の「財政の崖」問題やユーロ圏の景気悪化懸念の高まりなどから円高にふれましたが、その後は、ギリシャ支援の合意や、欧州債務問題への懸念が後退したこと、日本で日銀に対する金融緩和と圧力が高まるなどの思惑が強まったことなどから、大幅な円安となりました。円は対ユーロで9月末比14円47銭(14.44%)円安ユーロ高の1ユーロ=114円71銭となりました。

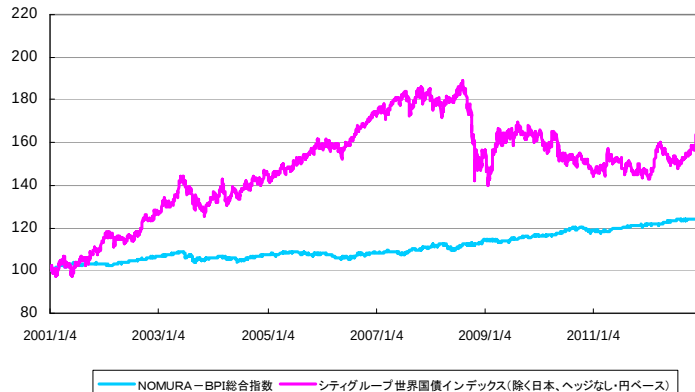
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

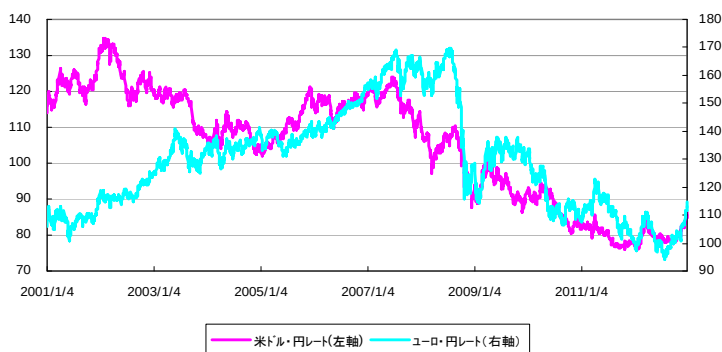


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL: 0120-153-193

アクサ生命のホームページ: <http://www.axa.co.jp/life/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート (2012年10月～2012年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2012年12月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型40MU(509)	● 当ファンドは、TOPIXマザーファンド受益証券20%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券30%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券20%、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券15%および外国債券インデックスマザーファンド受益証券15%を標準資産配分とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
利用する投資信託	● 各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1カ月に1回程度リバランスを行い、これを修正し、標準資産配分を維持します。
三菱UFJ バランスファンドVA 40型 (適格機関投資家限定)	● 当ファンドの主なリスク ・市場リスク(価格変動リスク)(為替変動リスク) ・信用リスク ・流動性リスク

■特別勘定のユニットプライスの推移

※特別勘定のユニットプライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定の ユニットプライス	騰落率(%)
2012年12月末	81.68
2012年11月末	78.43
2012年10月末	76.50
2012年9月末	76.02
2012年8月末	75.28
2012年7月末	74.99
過去1ヵ月	4.13
過去3ヵ月	7.44
過去6ヵ月	8.78
過去1年	11.56
過去3年	2.39
設定来	▲ 18.32

- ・世界分散型40MU(509)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年1月29日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40MU(509)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	15,563,976	99.5
現預金・その他	75,374	0.5
合計	15,639,351	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL: 0120-153-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

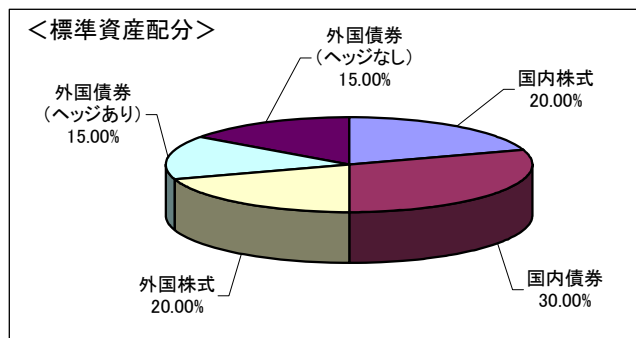
【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート(2012年10月~2012年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の運用状況 [2012年12月末日現在]

■ファンドの特色



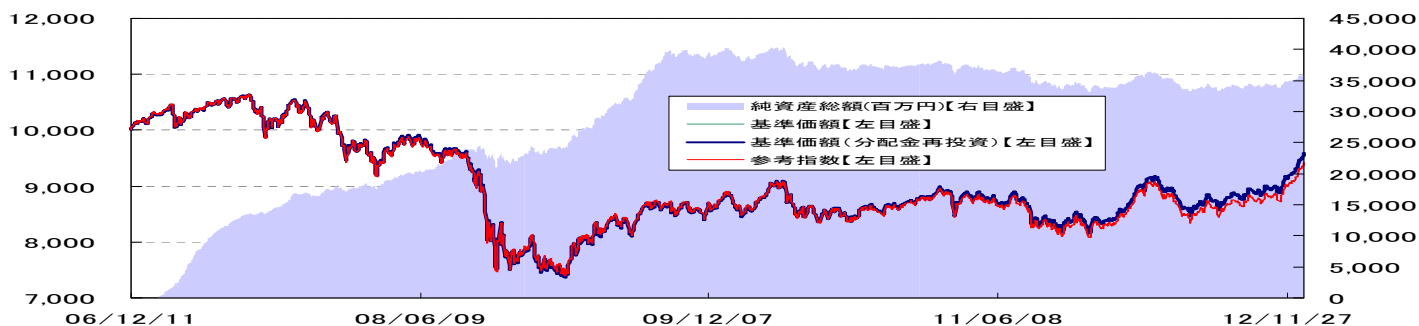
①TOPIXマザーファンド受益証券、日本債券インデックスマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券および外国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。

②TOPIXマザーファンド受益証券20%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券30%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券20%、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券15%および外国債券インデックスマザーファンド受益証券15%を標準資産配分とし、これを維持します。

③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。
なお、リバランスに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。

■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.294%(税抜0.28%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)20%、NOMURA-BPI総合インデックス30%、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2012/12/28	前月末	前月末比
基準価額	9,595円	9,195円	+400円
純資産総額(百万円)	36,255	34,937	+1,318

	基準価額	日付
設定来高値	10,644円	2007/7/20
設定来安値	7,363円	2009/3/10

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	4.35%	8.09%	10.08%	14.24%	9.76%	-4.05%
参考指数	4.23%	8.01%	9.73%	13.37%	7.57%	-5.71%
差	0.12%	0.08%	0.36%	0.87%	2.18%	1.66%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。

また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■資産構成

	標準 資産配分	ファンドの 資産構成
国内株式	20.00%	20.35%
国内債券	30.00%	29.15%
外国株式	20.00%	20.33%
外国債券(ヘッジあり)	15.00%	14.56%
外国債券(ヘッジなし)	15.00%	15.36%
短期金融資産	0.00%	0.25%
合計	100.00%	100.00%

・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。

・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。

(注)REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

■分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2012/2/20	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

・1万口当たりの税引前分配金実績です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL: 0120-153-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート(2012年10月～2012年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

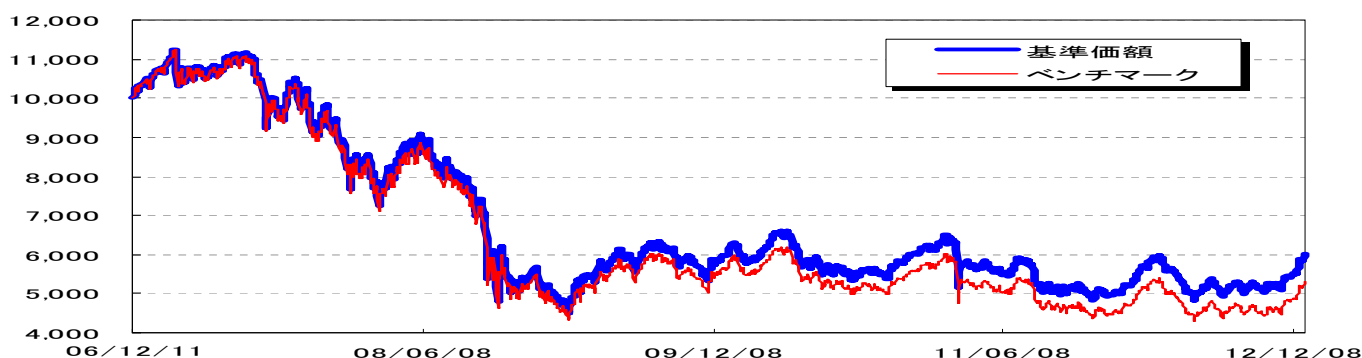
マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の運用状況 [2012年12月末日現在]

■マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の特色

- ・東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ・東証株価指数(TOPIX)から乖離するリスクと運用コストの極小化を目的として、定量的なリスク管理に基づいたポートフォリオ構築と適切な売買執行を行います。
- ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■資産構成

	2012/12/28	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	98.72%	99.41%	-0.69%
内 現物	97.73%	97.86%	-0.13%
内 先物	0.99%	1.55%	-0.56%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1689 銘柄)

	銘柄	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	4.25%	4.35%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.84%	2.91%
3	ホンダ	2.19%	2.24%
4	三井住友フィナンシャルグループ	1.92%	1.96%
5	キャノン	1.71%	1.75%
6	みずほフィナンシャルグループ	1.65%	1.69%
7	ファナック	1.37%	1.40%
8	武田薬品工業	1.25%	1.28%
9	日本電信電話	1.24%	1.27%
10	三菱地所	1.17%	1.20%

・比率は純資産総額に対する割合です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	10.16%	16.77%	13.00%	20.91%	1.52%	-39.67%
ベンチマーク	10.02%	16.60%	11.65%	18.01%	-5.27%	-46.81%
差	0.13%	0.17%	1.35%	2.90%	6.78%	7.14%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。

・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■株式組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	12.13%	12.13%
2	輸送用機器	11.22%	11.22%
3	銀行業	10.38%	10.38%
4	情報・通信業	5.96%	5.95%
5	化学	5.72%	5.72%
6	機械	5.21%	5.21%
7	卸売業	5.20%	5.20%
8	医薬品	4.80%	4.80%
9	小売業	4.11%	4.11%
10	陸運業	4.04%	4.04%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL: 0120-153-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート(2012年10月～2012年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご通知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

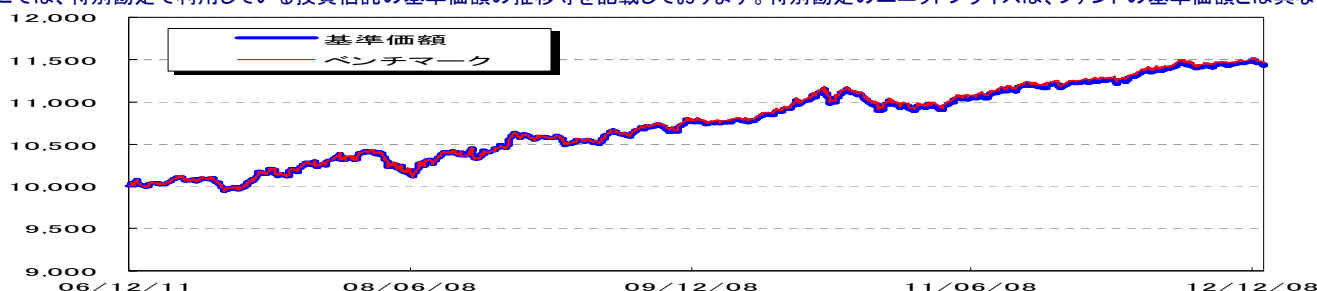
マザーファンド(日本債券インデックスマザーファンド)の運用状況 [2012年12月末日現在]

■マザーファンド(日本債券インデックスマザーファンド)の特色

- ・NOMURA-BPI総合インデックスに採用されている公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるNOMURA-BPI総合インデックスと連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
- ・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、NOMURA-BPI総合インデックスです】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・NOMURA-BPI総合インデックスは野村證券株式会社が公表している指数で、野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切関係ありません。

■資産構成

	2012/12/28	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	100.04%	100.11%	-0.08%
内 現物	99.83%	99.97%	-0.14%
内 先物	0.21%	0.14%	0.07%

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.31%	-0.08%	0.45%	1.87%	6.22%	14.34%
ベンチマーク	-0.29%	-0.06%	0.45%	1.86%	6.30%	14.64%
差	-0.01%	-0.01%	-0.00%	0.01%	-0.08%	-0.30%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	8.61年	8.16年
修正デュレーション	7.29年	7.23年
複利利回り	0.66%	0.65%

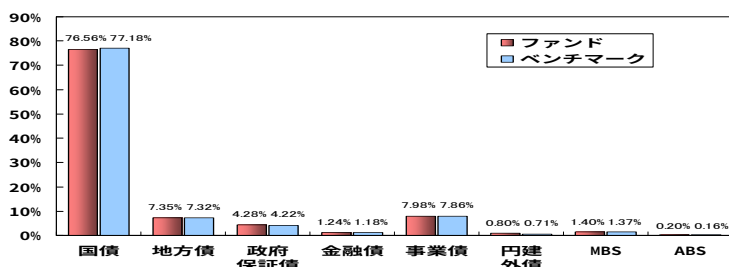
- ・数値は、債券現物部分について計算しています。
- ・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・修正デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、修正デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
- ・「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

■公社債組入上位10銘柄

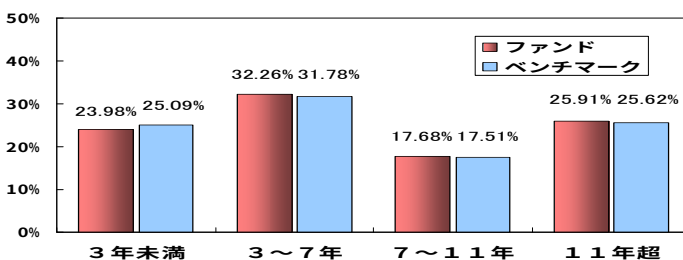
(組入銘柄数: 681 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第262回利付国債(10年)	国債	1.900%	2014/6/20	2.72%
2	第259回利付国債(10年)	国債	1.500%	2014/3/20	2.70%
3	第263回利付国債(10年)	国債	1.600%	2014/9/20	2.68%
4	第284回利付国債(10年)	国債	1.700%	2016/12/20	2.15%
5	第285回利付国債(10年)	国債	1.700%	2017/3/20	2.09%
6	第281回利付国債(10年)	国債	2.000%	2016/6/20	1.90%
7	第283回利付国債(10年)	国債	1.800%	2016/9/20	1.84%
8	第276回利付国債(10年)	国債	1.600%	2015/12/20	1.83%
9	第268回利付国債(10年)	国債	1.500%	2015/3/20	1.80%
10	第287回利付国債(10年)	国債	1.900%	2017/6/20	1.74%

■公社債種別構成比



■公社債残存別構成比



・比率は純資産総額に対する割合です。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL: 0120-153-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の四半期運用レポート（2012年10月～2012年12月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

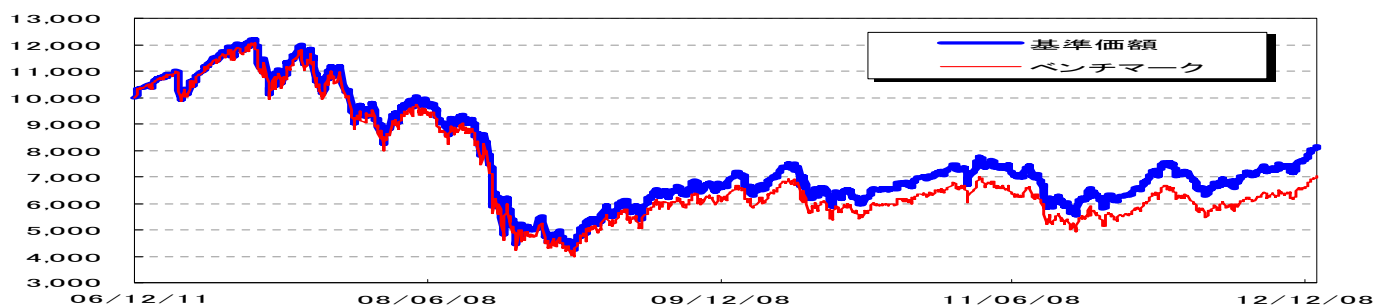
マザーファンド（外国株式インデックスマザーファンド）の運用状況 [2012年12末日現在]

■マザーファンド（外国株式インデックスマザーファンド）の特色

- ・MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) (円換算ベース) に採用されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークであるMSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) (円換算ベース) と連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。また、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
- ・株式の実質投資比率（組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。）は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) (円換算ベース) です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 40型（適格機関投資家限定）の設定日（2006年12月11日）の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) (円換算ベース) は、MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) (米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) はMSCI Inc. の財産であり、「MSCI」はMSCI Inc. のサービスマークです。

■資産構成

	2012/12/28	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	99.46%	99.72%	-0.26%
内 現物	97.97%	98.76%	-0.79%
内 先物	1.49%	0.96%	0.53%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1283 銘柄)

	銘柄	国名	業種	ファンド	ベンチマーク
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	2.02%	2.06%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.68%	1.71%
3	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.91%	0.93%
4	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.89%	0.91%
5	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.89%	0.90%
6	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.88%	0.89%
7	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.85%	0.87%
8	AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.81%	0.83%
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	0.81%	0.83%
10	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	0.80%	0.82%

・比率は純資産総額に対する割合です。

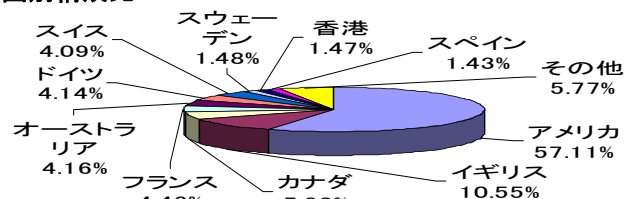
(注) 当ページの比率につき、REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	7.05%	13.12%	23.65%	30.40%	16.85%	-18.22%
ベンチマーク	6.84%	12.64%	22.32%	27.03%	8.22%	-29.67%
差	0.21%	0.48%	1.33%	3.37%	8.63%	11.45%

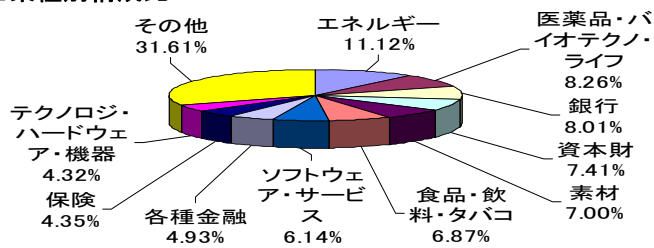
- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型（適格機関投資家限定）の設定日（2006年12月11日）の前営業日を起点として計算しています。

■国別構成比



- ・比率は現物株式評価額に対する割合です。
- ・国名は、投資対象銘柄の主要取引所国を表しています。

■業種別構成比



・比率は現物株式評価額に対する割合です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 - 17 - 3

TEL : 0120 - 153 - 193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

【取扱者（生命保険募集人）】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート(2012年10月～2012年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご通知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

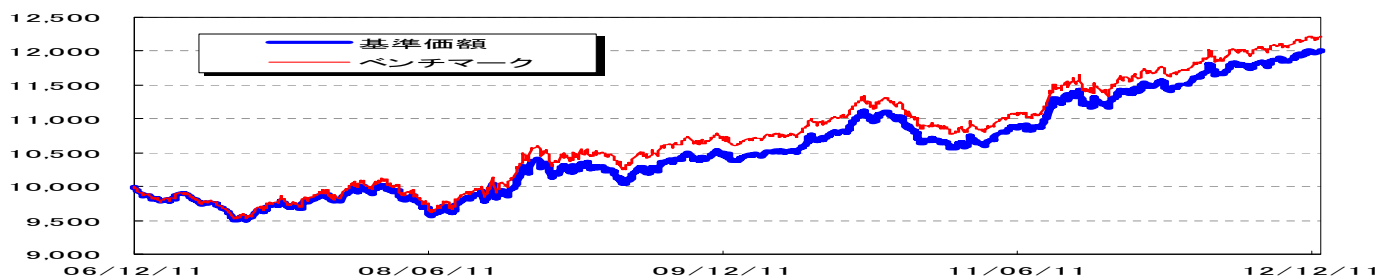
マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の運用状況 [2012年12月末日現在]

■マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の特色

- ・世界主要国の公社債(日本を除く)を主要投資対象とし、ベンチマークであるシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を中長期的に上回る投資成果を目指して運用を行います。
- ・運用にあたっては、クオンツモデルを活用することにより主要国の各債券市場を分析し、債券の残存期間構成戦略を超過収益の源泉とします。また、為替変動リスクを回避するため、原則としてフルヘッジを行います。
- ・株式への投資は、転換社債および転換社債型新株予約権付社債の転換等により取得したものに限りします。

■基準価額の推移【ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)を10,000として指数化しています。
- ・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。

■資産構成

	2012/12/28	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	101.91%	99.53%	2.38%
内 現物	101.91%	99.53%	2.38%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

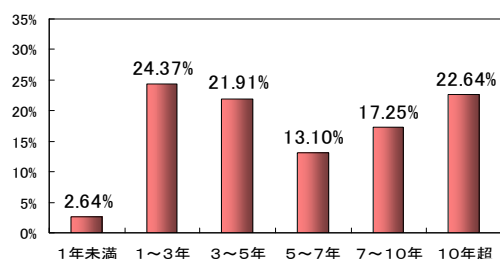
■公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 106 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1	2.5 T-NOTE 150430	国債	2.500%	2015/4/30	アメリカ	4.65%
2	4.75 T-NOTE 140515	国債	4.750%	2014/5/15	アメリカ	4.56%
3	4.75 T-NOTE 170815	国債	4.750%	2017/8/15	アメリカ	4.38%
4	4.875 T-NOTE 160815	国債	4.875%	2016/8/15	アメリカ	3.24%
5	4.625 T-NOTE 161115	国債	4.625%	2016/11/15	アメリカ	3.04%
6	4.5 T-NOTE 151115	国債	4.500%	2015/11/15	アメリカ	2.66%
7	4.25 ITALY GOVT 150201	国債	4.250%	2015/2/1	イタリア	2.50%
8	2.125 T-NOTE 210815	国債	2.125%	2021/8/15	アメリカ	2.31%
9	4.25 T-NOTE 131115	国債	4.250%	2013/11/15	アメリカ	2.30%
10	4 O.A.T 141025	国債	4.000%	2014/10/25	フランス	2.26%

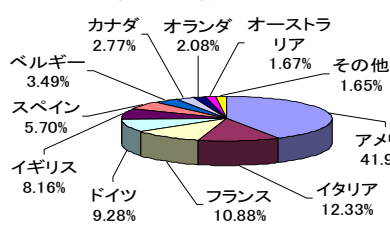
・比率は純資産総額に対する割合です。

■公社債残存別構成比



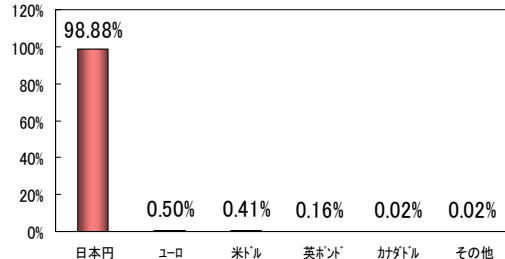
・比率は純資産総額に対する割合です。

■公社債国別構成比



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

■通貨配分



・比率は、[外貨建て純資産－為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL: 0120-153-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート(2012年10月～2012年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご通知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

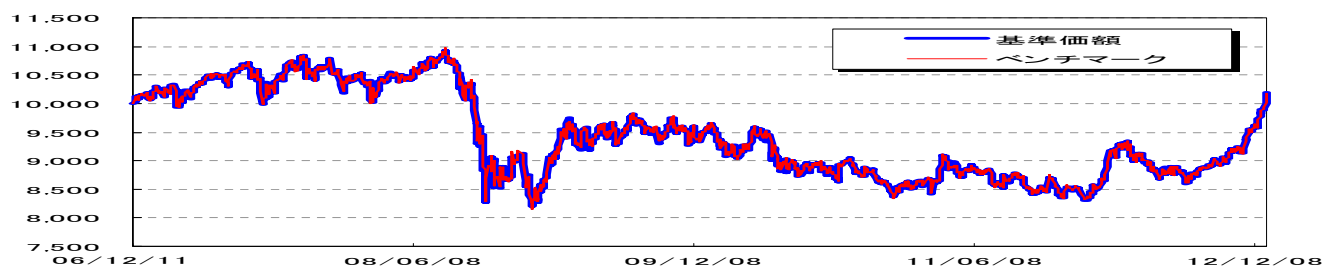
マザーファンド(外国債券インデックスマザーファンド)の運用状況 [2012年12末日現在]

■マザーファンド(外国債券インデックスマザーファンド)の特色

- ・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)に採用されている国債を主要投資対象とし、ベンチマークであるシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。また、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
- ・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。シティグループ世界国債インデックスはシティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。

■資産構成

	2012/12/28	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	99.62%	99.62%	0.00%
内 現物	99.62%	99.62%	0.00%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

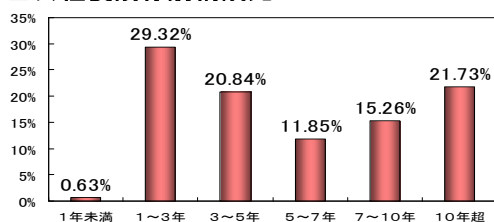
■公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 622 銘柄)

銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1 2 T-NOTE 220215	国債	2.000%	2022/2/15	アメリカ	0.53%
2 3.625 T-NOTE 200215	国債	3.625%	2020/2/15	アメリカ	0.43%
3 4.25 T-BOND 401115	国債	4.250%	2040/11/15	アメリカ	0.41%
4 3.125 T-NOTE 210515	国債	3.125%	2021/5/15	アメリカ	0.41%
5 3.625 T-NOTE 210215	国債	3.625%	2021/2/15	アメリカ	0.41%
6 4.375 T-BOND 400515	国債	4.375%	2040/5/15	アメリカ	0.40%
7 3.875 T-BOND 400815	国債	3.875%	2040/8/15	アメリカ	0.40%
8 2.625 T-NOTE 200815	国債	2.625%	2020/8/15	アメリカ	0.39%
9 4.75 T-BOND 410215	国債	4.750%	2041/2/15	アメリカ	0.39%
10 4.375 T-BOND 410515	国債	4.375%	2041/5/15	アメリカ	0.38%

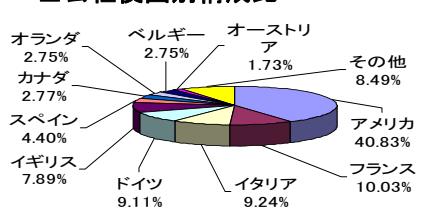
・比率は純資産総額に対する割合です。

■公社債残存別構成比



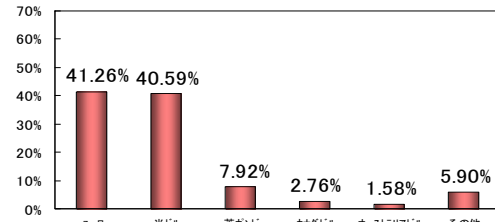
・比率は純資産総額に対する割合です。

■公社債国別構成比



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

■通貨配分



・比率は、[外貨建て純資産－為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL: 0120-153-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06）のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

【積立期間中および年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要な費用	一時払保険料に対して 5%
保険契約管理費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3%
運用関係費	特別勘定の運用等に必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.294%程度（税抜0.28%程度）*

*運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

【一般勘定年金支払期間中】

※「年金払特約(06)」により遺族年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%*

*年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額となります。一般勘定年金支払期間中は、他に「年金管理費」がかかります。

【その他の留意事項について】

■受取総額保証金額（終身型）

受取総額保証金額の最低保証は、年金を特別勘定終身年金でお受け取りいただく場合に限られます。特別勘定終身年金以外の方法でお受け取りいただく場合や、積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。